



世界に希望を生み出そう
RI会長 ゴードン R.マッキナリー

2023-2024年



Rotary District 2640 Japan

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 岸 友子 幹事 角谷 太基 SAA 田中 祥秀

第 2171 回例会

2024 年 3 月 11 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

IDM報告

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング

「我等の生業」

3. 出席報告

会員総数 40 名 出席者数 23 名

出席義務規定適用免除会員 2 名

出席率 60.53% 前回修正出席率 72.97%

4. 会長スピーチ

会長 岸 友子 君

みなさん、こんにちは。今週は気温が上がりそうです。ようやく春の陽気になって過ごしやすくなってきましたね。

本日は、2 月末から 3 月初めにかけて開催された IDM の発表です。ロータリーにとって重要な会員増強について、遅ればせながら話し合っていたいただきありがとうございます。成果を期待しております。よろしくお願いいたします。

さて、能登半島地震への支援物資についてですが、2640 地区の第 1 報は早かったのですが、その後の対応は 1 月 15 日で止まったままです。

①被災地側の求めがあれば連絡するので提供していただきたい②物資は各クラブまたは所有会員にて保管いただきたい③他のルートで依頼があればそちらを優先してください。

というスキームで動かし、ガバナー事務所には支援物資は決して送らないようにとのことです。また、当クラブから単独で石川県にもネット登録しておりますが、そこからも連絡がありません。災害支援というのは行政も民間も難しいですね。もどかしく思われる方も多いかと思うので、今まで何度も話しているのですが現状報告させていただきました。例会終了後の理事会でも協議したいと思います。

3月「水と衛生月間」

5. 幹事報告

幹事 角谷 太基 君

今回は特にありません。

6. 米山カウンセラー感謝状贈呈

榊原 由希子 君

一年間、ご苦労様でした。



7. IDM報告

○1組 発表：前田 誠吏 君

・3 月 7 日(木) 19 時~ 美登利

・メンバー(敬称略): 田岡、前田誠、谷脇、山東、中西、 総田、楠山 計 7 名

・テーマ: 会員増強について

① 会員増強策の提案

『現在までの傾向から考えると』

・2 世会員が多い。

・友達関係で輪が広がるケースも多い。

・JC からの流れで入会する方も多い。

・80 歳を超えると脱会者が増える。

『会員増強策として』

・まず楽しいクラブであると思っていただくことが大事。(敷居が高いイメージを払拭するということで、まずは楽しいイベントに参加してもらってから入会を勧める。IDM に参加してもらって、和気あいあいなところから勧める。)

・いきなりの新会員卓話がプレッシャーになるケースも過去にあった(週報に自己紹介文掲載程度にするとか)

・ネクタイ等の規律緩和も考える。

・1 人勧誘すれば年会費 1 万円安くすれば。

② 推薦候補者情報

・㈱クロシオ 深谷亜由美さん

・小椋リビングクリーン(株) 小椋孝也さん



四つのテスト 是非これにチャレンジ

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深められるか
- ④ みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)
TEL: 073-483-0801 FAX: 073-483-2266

http://www.kainaneast-rc.jp

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

- ・大和交通㈱ 中村雅行さん
- ・海南冷蔵㈱ 林孝次郎さん
- ・山一製材㈱ 木下憲治社長
- ・辻秀輝整形外科 院長、真理子理事、服部事務長、
- ・辻健二郎建築設計事務所 辻健二郎代表
- ・卓話いただいたマルサン野田商店の店主
- ・下津 岡齒科さんの2代目さん
- ・菱井明人司法書士事務所 代表”

○2組 発表：榊原 由希子 君
3月1日(金) 19:00～うたげ
メンバー(敬称略) 大江、桑添、土井、上野山、山畑、榊原 計6名
【会員増強について】



◆お誘いするポイント

①接触する(ゴルフや卓話にお誘いするなど)

②ターゲットをしぼる

③強引にお誘いするくらいが大事

◆会社経営者以外に声をかけたい方

・JC の OB

・学校の先生など教育者の方

◆具体的にお誘いしたい方

・紀美野町の「みちうえ」と「和み」さんご兄弟(和みさんのお弁当を今後お願いするのは?)

・布引のメンテナンス会社の社長さん(日本保管工業所 山崎様)

・黒江の「べっちゃんさん」の中山社長

・黒江の漆作家の橋爪玲子さん

・深谷さんの娘さん

・赤土建設の娘さん

・下津町戸坂のホテルベルベゼーレの社長

◆課題

・ロータリーに興味ある人はいるが、会費がネックという方も多い。

◆ロータリーの魅力

尊敬する先輩方からいろいろなことを学べる。

勉強会など有意義なことができる。

国際交流があることも魅力。

○3組 発表：楠部 均 君
・2月27日(火) 19時～ うたげ
・メンバー(敬称略):花畑、寺下、中村、宇恵、才力、新垣、楠部、計7名
・テーマ:会員増強について(内容)



①会員増強策の提案

・親がロータリー会員だった人への勧誘アプローチ、これが一番効果ある

・当ロータリークラブの活動を記したパンフレットを作って勧誘ツールとして活用する。また、海南祭りのようなイベントに参加した際にも来場者にそのパンフレットを配ってロータリーの存在、活動を知ってもらうツールとして使う

- ・「会員一人が一人を誘う」をキャンペーンとして打ち出す
- ・常にロータリークラブの課題としてあげられている会員増強を次年度は当クラブとしての最優先事項とし、会長からのメッセージでそのことを全ての会員に理解してもらう
- ・その上で、各会員一人ひとりにクラブに入会してくれそうな人の名前をだしてもらい「入会候補者リスト」を作成する
- ・そのリストをもとに毎月理事会の協議事項として、誰がいつどの候補に連絡するのかを話し合いそれを実行する
- ・会員増強委員長が中心となりそのリストを常に更新していく
- ・また会員の退会を防ぐために更に魅力あるクラブにしていく

-例会の活性化→委員会報告、ニコニコなど会員の発言機会をもっと増やす -奉仕活動を増やす

-委員会ごとのミーティングを開く

-IDM の出席率が高いのでその回数を増やして会員同士の意見交換の機会を増やす

②推薦候補者

・(株)日本保管工業所 山崎直紀 ボイラーのメンテ、配管工事

・(株)藤代工芸 藤代強 漆器

・(株)海南シルバー自動車 木地俊博

・山一製材(株) 木下憲治

○4組 発表：前田 克仁 君

・2月19日(月) 19:00～ うたげ

・メンバー(敬称略):前田(リーダー)、田中淳(副リーダー)、山名、魚谷、重光、箕島、倉橋 計7名

テーマ 会員増強について

①会員増強策の提案

●法人会員制度の検討 My Rotary の「法人会員導入ガイド」を配布し制度について勉強

・定義はクラブが自由に決められるが、クラブ細則に明記する必要がある。

・法人自体が会員になることはできず、会員はあくまで個人

・代表会員+補欠会員(1~3名) 2つの代表的モデル

モデル A 正会員:代表会員のみ 会費:代表会員のみ 補欠会員は代表会員の代理として例会に出席

モデル B 正会員:全員 会費:全員分(ただし、一人当たり相当額は割安に設定) 全員が例会に出席できる

・Aは代理出席で出席率向上が、Bは会員数増が期待できる

・入会をためらうような人にも可能性が広がる

・海南市内でどれだけニースがあるか疑問

●クラブの現状評価



・My Rotary の資料やツール、各種アンケート調査(会員関心事、会員満足度、退会者アンケートなど)を活用して候補者にとって魅力あるクラブかどうか分析

・会員自身のモチベーションが上がるような活気あるクラブに

・自信をもって勧誘、説明できるためにロータリーについての知識をつける

●入会候補者とのつながり

・ちらし、パンフレットの活用

・入会候補者が気軽に参加できるようなイベント

・正式入会前に3か月程度のお試し期間を設ける

・より積極的に広報、地域行事への参画をすることでロータリークラブの活動を一般に広くアピール

・常日頃から候補者と交流し、ロータリーに入会する場合は海南東へと声掛け

②推薦候補者情報

●JC 卒業者に候補者多数

○5組 発表：角谷 太基 君

・3月1日(金) 19:00～ 美登利

・メンバー(敬称略):角谷・田中・上田・千賀・花田・岡 計6名

テーマ:①会員増強策の提案②推薦候補者情報



まずは①について、ロータリークラブの名前は知っているが具体的に何をやっているか知らない。人がほとんどで、世間の人に知ってもらう必要があるのではという意見がありました。

そもそも宣伝もしないで出しゃばらないというスタンスであったが、最近では変わってきている。

そこで公開例会をしてはどうかという提案がありました。有名な人を呼んでの卓話や郷土のことを知ってもらう内容で、商工便りや市報などで広告し、一般の方にも例会にも参加してもらい雰囲気を感じてもらうのはどうか。

過去にも浜口吾良資料館の館長さんと呼んだり、バイオリニストを呼び演奏してもらったことがあるようです。

②について

以前は一業種一人であったが現在では変わってきている。それを踏まえると納税協会青年部のメンバーに声をかけてみてはという意見が出ました。

また、サラリーマンの方で定年後世の中のためになりたい人、都会から地元に戻って来た際の友達作りとして積極的に参加している人もいる。

このような会社という社会との接合点がなくなり世間と縁が切れた人や地元に戻ってきた人に声をかければ良いという意見が出ました。

最後に以前は紀陽銀行など大企業などが入っており、社員が参加していた。

異業種の情報交換の場として活用してもらい法人会員として参加してもらうのはどうかという意見が出ました。



ニコニコ・BOX

榊原由希子 君

寺下 卓 君

田岡 郁敏 君

岸 友子 君

山東 剛一 君

IDM

ヒエンちゃんの紹介

治療の件

PETS の話

IDM 参加できず申し訳ございません

83歳になりました。

残金

Rotary  NEWS

ロータリーと国連環境計画の パートナーシップ

自然生態系を守り、持続させるためのカギは、生態系の近隣にあるコミュニティに関与を促し、啓発し、モチベーションを与えることです。このため、「淡水保全のためのコミュニティアクション」イニシアチブでは、地域社会を基盤とするロータリークラブとローターアクトクラブが重要な担い手となります。

「淡水保全のためのコミュニティアクション」(Community Action for Fresh Water)は、ロータリーと国連環境計画(UNEP)のパートナーシップにおける代表的なイニシアチブです。このイニシアチブでは、「環境」の重点分野と一致する淡水の生態系の保全・回復のために、ロータリーとローターアクトの会員が地域社会と協力します。ロータリーと国連のこの戦略的パートナーシップは、2023 年に発足しました。



健全な淡水生態系は社会の繁栄と活性化に欠かせないものですが、気候変動、自然・生物多様性の喪失、汚染によって、これらの生態系が脅かされています。世界各地のロータリー会員は、淡水生態系の保全と回復に既に活発に取り組んでいます。

「淡水保全のためのコミュニティアクション」は、UNEP とロータリー第 9212 地区(エリトリア、エチオピア、ケニア、南スーダン)が 2020 年に開始し、世界各地に広がった「Adopt a River for Sustainable Development」(持続可能な開発のための河川支援)試験的プログラムにおける淡水生態系の保全と回復の成功を土台としつつ、そこから学んだことを活かし

てさらに拡大するものです。

このパートナーシップは、ロータリー会員のリソースやボランティア動員力と、UNEP の専門知識を結びつけることで、さらに持続可能で長期的な環境へのインパクトを与えることを目指します。UNEP は、国連システムにおける環境分野の主要機関であり、生物多様性を含め、世界の自然と天然資源の保全・改善・支援に取り組んでいます。

会員が「淡水保全のためのコミュニティアクション」に参加する方法

ロータリークラブとローターアクトクラブが、単一または合同で、地元の河川、湖、入り江、天然貯水池、湿地帯の保全と回復に取り組むことを決定します。

その後、地元の他団体や住民と協力して、地元の水域が直面する主な脅威を特定し、関連する地元団体と連携して活動計画を立てます。

手始めに、河川清掃デーや地域社会の啓発キャンペーンを実施するのもよいでしょう。その後も、クラブが継続的に回復・管理の活動を行い、基本的な水質を計測し、プロジェクトの計画を立てることができ、市民科学や見受けられる環境問題について意思決定者に伝えるなど、さらに一歩進んだ活動を行うこともできます。

ロータリークラブとローターアクトクラブは、「淡水保全のためのコミュニティアクション」の中心的存在となっており、非政府団体、民間企業、自治体や政府機関と密に協力して地元の淡水生態系を改善し、好ましいインパクトを生み出すことができます。

国連の持続可能な開発目標(SDGs)に向けた活動

このパートナーシップは、国連の持続可能な開発目標(SDGs)、特に、水・衛生(目標 6)、気候変動(目標 13)、陸上資源(目標 15)に関する目標を達成することを目指しています。

クラブが既に淡水資源の保護に取り組んでいる場合、または淡水の回復と保全に取り組む計画が整った場合には、以下のフォームからプロジェクトの詳細と連絡先をお知らせください。



UNEP は、各国が淡水生態系を保護および回復し、将来の世代に向けてそのサービスを維持できるよう支援します。

淡水生態系は人間のあらゆる社会的および経済的活動を支えています。それらは地球上の生命の網を支えるために不可欠です。だからこそ、私たちはそれらを大切に、保存し、復元する必要があります。

淡水生態系と水資源の保護、管理、回復は、生物多

様性の損失、汚染、気候変動という地球規模の三重危機と闘うための基礎です。しかし、それらはまた、それらと闘うための鍵でもあります。これは、UNEP の世界的な淡水戦略優先事項 2022 ~ 2025 の核心を形成し、UNEP の中期戦略 2022 ~ 2025 の実施に役立ちます。十分な量の真水を手に入れる一方で、品質と入手可能性は人間の生命、健康、福祉、尊厳を支え、人権でもあります。この淡水を供給する生態系はますます脅威にさらされています。河川、湖、湿地、地下水帯水層などの内陸水域を含む淡水生態系とその生物多様性は、地球上で最も脅かされているものの一つです。それらはまた、海岸沿いや海洋の他の生態系とも密接に関係しています。

UNEPとロータリーのパートナーシップは淡水源の保護を目指す

国連環境計画 (UNEP) と世界最大の奉仕団体の 1 つである国際ロータリーとの間の新しいパートナーシップは、淡水域の保全と回復に取り組むことになります。

UNEP と国際ロータリーは、2024 年 1 月 7 日から 11 日まで開催された国際ロータリー総会で提携を発表しました。国際ロータリーは、140 万人の会員と 45,000 のクラブからなる世界的なネットワークです。

淡水生態系とその生物多様性は社会にとって重要です。それらは、他の多くの必需品の中でも特に、飲料水、灌漑用の水、魚やその他の食料、レクリエーションの機会、輸送ルートを提供します。しかし、あまりにも多くの場合、それらは汚染、過剰使用、気候変動に悩まされています。

2020 年、国際ロータリーは、社会的責任を負う広範な会員からの圧力を受けて、7 つの重点分野の 1 つとして環境を追加しました。

国際ロータリーとのパートナーシップは、持続可能な開発、気候、生物多様性、その他の世界的な公約を達成するために、湖、川、湿地、地下水帯水層などの淡水生態系の監視、保護、回復、およびより適切な管理を各国が支援する UNEP の世界的な取り組みを支援します。

UNEP 海洋淡水支部首席コーディネーターのレティシア・カルヴァーリョ氏は、「水への取り組みを加速するには、素晴らしいパートナーシップが鍵となります」と述べた。「私たちは、ロータリーの世界的な展開、地域社会との密接なつながり、そして行動を重視した取り組みを備えたロータリーと協力できることを非常に楽しみにしています。」

このパートナーシップは、新しい取り組み「淡水のためのコミュニティ活動」を通じて、ロータリー会員、その中にはインターアクターやローターアクターとして知られる青少年に力を与えることになります。この取り組みでは、淡水生態系を保護、回復、維持するための最善の方法について、UNEP の専門家やパートナーからの指針や情報をロータリー会員と共有します。